（別紙３）

○事業所名	こども発達支援センター「ばんばんLab.」（児童発達支援事業）			
○保護者評価実施期間	2026年2月9日	～	2026年2月27日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	44	（回答者数）	34
○従業者評価実施期間	2026年2月9日	～	2026年2月27日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	① 子どもの特性理解に基づく専門的支援 保護者評価では、子どもの特性や発達段階を理解した専門的な支援が提供されていることについて非常に高い評価が得られている。個別支援計画の作成や計画に沿った支援の実施についても高い評価が見られ、子ども一人ひとりの状況に応じた療育が行われている点が事業所の強みである。	単に「やり方」を当てはめるのではなく、「その子がどう捉えているのか」という視点に立って環境を調整したり、視覚支援を取り入れたりすることにより、「見ただけで何をすれば良いのかが分かる」状態を作ります。またその中で、「何を」「どれだけ」「どうなったら終わりか」を視覚的に明示し、自立して活動を完結できるようにしています。	表面的な行動（パニック、離席など）だけを見るのではなく、その背景にある「感覚の過敏さ」「見通しの持てなさと不安」「認知の偏り」などの要因を分析するためにも、アセスメントの多角化をし、 その行動が「何を求めて（あるいは避けて）」起きているのかまでの理解を更に深めていきます。
2	② 安心して過ごせる療育環境 生活空間の清潔さや活動スペースの確保、構造化された環境づくりなどについて保護者から高い評価が得られている。また「子どもが安心して通所している」「通所を楽しみにしている」といった回答も多く、子どもが安心して過ごせる環境が整えられていることが強みである。	「ダメ」といった肯定的な禁止用語を避け、「～しようね」という肯定的な表現や具体的な行動を褒めることで、自己肯定感を高められるようにしています。 また「自分はここでうまくやれる」という自信を持つことができるよう、本人の発達段階に合わせた課題を用意し、「できた」という経験を積むようにしています。	「できた」の経験を積んで行く中で、自立課題として誰の助けも借りずに一人で完成できる課題を用意し、「自分一人で最後までできた」という達成感を感じられるような課題にも挑戦していけるようにしていきます。
3	③ 保護者との信頼関係と支援満足度 保護者との情報共有や相談対応についても高い評価が得られており、日頃から子どもの状況を保護者と共有しながら支援が行われている様子がうかがえる。事業所の支援に対する満足度も高く、保護者との信頼関係を基盤とした支援体制が構築されている点が強みである。	フィードバックでは「今日は〇〇ができました」という端的な報告ではなく、「先週は難しかったことが〇〇をしたことで～ができるようになりました」というように具体的に、文脈を持たせて伝えるようにしています。	母子分離での療育となるため、見えないことへの不安を少しでも軽減することができるよう、現場の様子を可視化し、イメージがしやすい伝え方ができるよう、職員間で言葉の使い方や表現の仕方について検討していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	① 家族支援プログラムの周知・充実 ペアレントトレーニングや家族向けの研修等の家族支援については、「わからない」と回答する保護者が一定数見られた。支援の機会自体や実施内容について、保護者への周知や参加しやすい形での実施方法を検討していくことが課題である。	支援プログラムが本来届くべき対象者に十分に認知されていないこと。	必要な情報を入手することができるよう、地域との連携や他の事業所との交流を持つことができるよう、外部と交流する機会を設ける 。
2	② 保護者同士の交流機会 保護者会や保護者同士の交流機会については、「わからない」「どちらともいえない」という回答が多く見られた。希望する保護者のニーズを踏まえながら、必要に応じて保護者同士が情報交換できる機会について検討していくことが課題として考えられる。	日々の療育の中で時間の確保が大きな課題。	子育ての大変さを共有するなど、短時間でも良いので何かしらのイベントを行い、保護者間で交流できる場を設ける。
3	③ 防災・安全対策に関する情報共有 防災訓練や安全対策については「わからない」という回答が比較的多く見られた。実際の取り組み内容や訓練の実施状況について、保護者に対して分かりやすく情報共有を行うことで、安心感の向上につなげていくことが今後の課題である。	取り組んだ避難訓練等とフィードバックのみで伝えるのではなく、インターネットを積極的に利用するなど情報提供ができていないこと。	「逃げなくて済む環境」と「逃げる準備」の両立が重要です。情報の整理として、「事前の備え」「発災時の行動」「情報収集ツール」を作成し、保護者への周知を行う。

（別紙４）

事業所名	こども発達支援センター「ばんばんLab.」（児童発達支援事業）

公表日　令和８年　３月　１２日

利用児童数　44　回収数　34

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31	3	0	0	・先生方が親切で親身になってくださるので子供が安心して楽しく通えています！ ・運動したり動き回るようなスペースがあれば尚良いなと思います。 ・子供の様子を詳しく教えてもらえる。	・今後、運動面にもアプローチできる課題を検討していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	32	1	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33	0	0	1	・子供に良いと思ったことをどんどん取り入れてしてくれることがありがたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34	0	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34	0	0	0	・通い出して子どもが穏やかになりました。どのように対応したらよいかわからないことも、特性を説明してくださったうえで対処方法を教えていただけたので、とても助かりました。 ・いつも子供に寄り添っていただき、感謝でいっぱいです。 ・苦手な部分が明確にされて伸ばすことが出来ている ・専門の先生がしっかりみてくれていると感じるが、それ以上に子どもに対しての愛情を感じるのが一番安心して任せられれる	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	34	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33	0	0	1	・前より保育園で活動に参加できたり、工作もより得意になりました。 ・うちの子の特性が独特なので組み込まれた一般的なプログラムと合っているのかはわからない。性格の分析は的確にされているとは思います。 ・無理せず子供のペースに合わせて進めてくれるので、本人もできるようになった実感を得やすいようです。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	0	0	4		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	0	0	2		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	19	4	0	11		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34	0	0	0	とても丁寧でした！	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	4	1	13	・親が子との関わりを学べる機会があるのが助かっています。	

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	33	0	0	1	・迎えに行くと細くその日の様子を教えてくれて助かります。 ・その都度話をしてくださり助かっています。 ・職種の違いかもしれませんが、専門職の先生の子どもに対する言葉使いの雑さと相槌の打ち方など、保護者(目上の人)に対する態度を改善してもらえたら	・職員研修を実施し、言葉使いや関わり方など、再度、見直し、職員の意識から変えられるようにしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	3	0	1	・保育園での困りごとなども、しっかり対応していただき、とても助かっています。 ・とても励まされています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	0	0	1	・安心感がすごいです！いつもありがとうございます。 ・いつも一所懸命に考えてくださっていますが、共感という形より、ご助言が多いように感じます。私が至らないため、ご指導いただくことが多く、しばらく引きずってしまうことがあるため、もう少しオブラートに言ってくださると大変助かります。	・伝え方や使用する言葉など、職員間でも同様の対応ができるように研修を実施します。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	5	2	19	・保護者同士の交流会や保育参観のようなイベントを経験してみたかったなぁと思います。	・来年度、療育を見てもらう機会などを設けられるよう日程調整します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	2	0	4		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	2	0	11		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34	0	0	0	・利用を検討中の保護者が見学に来た時に、現在利用中の子の名前が見えてしまうことや、制服で来ている子で同じ園だと特定されてしまうかもしれないなと感じた。仕方ないことかもしれないが、見学時には名前は配慮していただけると幸いです。	・できる範囲で名前を外すなど、対応させてもらいます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	0	0	12		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	0	0	18		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	29	1	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	0	0	6		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	33	1	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	30	4	0	0	・毎週先生とお話しするの楽しみにしてます。 ・何をしたのか嬉しそうに教えてくれます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	0	0	0	・個別、集団のどちらの時間でも苦手な部分は少しずつできるように色々なアプローチを考えてくださるのでとてもありがたいです！	

（別紙５）

事業所名	こども発達支援センター「ばんばんLab.」（児童発達支援事業）

公表日　令和８年　３月　１２日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	6	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		まだ外部をうまく機能させられていないため。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	3		会社が提案した研修にしか参加しない傾向にあるため、何のために研修に参加するのか？という面から見直しが必要。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	5	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		職員が個別ファイルを開いてでも個別支援計画書を自分たち自身で確認しようという意識を持つようにしていく必要あり。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	その日の役割、日々の確認は毎日行われている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6	0	支援開始前と同様にその日の利用時の姿を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		特定の人間しか参加が難しい状態なので、全職員となるとなかなか体制的にも難しい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		特定の人間しか参加が難しい状態なので、全職員となると記録上での情報共有しか難しい。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	1	5		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		訪問に行かせてもらうことはあるが、そこから事業所としての交流となると実施できていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		医療機関との連携がまだ取れていないため、まずはそこから進めたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	6	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	5		Instagramなどの活用に今年度は時間をかけることができていない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		地域との交流が無い状態なので、地域の行事に参加するなど、まずは地域との関わりを持てる機会を設けたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	5		医師の指示書を提出してもらったことが無いため、アレルギー対応が必要な利用児はそこの依頼から始めるべき。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		

（別紙４）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センター『ばんばんＬａｂ．』（保育所等訪問支援事業）			
○保護者評価実施期間	令和８年２　月　１日	～	令和８年　２月　２８日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	24名	（回答者数）	１９名
○従業者評価実施期間	令和８年２　月　１日	～	令和８年　２月　２８日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	2名	（回答者数）	2名
○訪問先施設評価実施期間	令和８年２　月　１日	～	令和８年　２月　２８日	
○訪問先施設評価有効回答数	（対象数）	21名	（回答数）	２１名
○事業者向け自己評価表作成日	令和８年　３月　１２日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	① 専門性の高い訪問支援の実施 保護者評価では、子どもの特性理解や専門性のある支援、個別支援計画の作成および計画に沿った支援の実施についてすべて「はい」の評価が得られている。訪問先施設の意向を踏まえた支援や、子どもの状態に応じた支援体制についても高く評価されており、専門性を活かした訪問支援が実施されている点が本事業所の強みである。今後も専門的視点に基づく支援の充実が期待される。	日々の保育二外部が介入するということは施設にとっても容易なことでないため、特別なことをしているといった威圧感を与えないよう、あえて専門用語を避け、日常的に使われる 表現方法で「一緒に考える」姿勢を心掛けています。	「当たり前のことを、一緒に大切にしてくれる人」となれるよう、日々の保育にもっと取り入れられる支援方法を提案できるよう検討していきます。 また訪問後、自分の主観が入り込んでいないか、専門的倫理に基づいた支援だったかを振り返る時間を設けます。
2	② 訪問先施設との連携を活かした支援 訪問支援の実施にあたり、訪問先施設への配慮や施設との話し合い、助言・支援が適切に行われている点について保護者から高い評価が得られている。訪問先施設と連携しながら子どもの支援を進めていることが、本事業の大きな強みである。今後も施設との協働体制を維持し、支援の質の向上を図ることが期待される。	こちらから指示や報告をするだけでなく、「現場で困っていることはありませんか？」と困っていることを聞き、訪問先施設の思いを尊重し、もし提案がある場合は「以前の事例でうまくいった方法なのですが、園ではいかがでしょうか？」と相談ベースで提案しています。	園で困っていることに対して当事業所としてどこまでできるのか？ということを考え、訪問そのものを必要であると思ってもらい、更に意味のあるものとなるよう実施方法を検討します。
3	③ 保護者との信頼関係と情報共有 保護者との情報共有や相談対応、面談・助言などの支援についても高い評価が得られており、保護者との信頼関係が構築されている様子がうかがえる。訪問支援の内容について保護者への共有も適切に行われており、家庭と連携した支援体制が整えられていることが強みである。	現状として「課題」となっている内容に対しては「できていない」では無く、「伸びしろ」として「ここをサポートすればもっと楽になります」と「今後への希望」として保護者に伝えるようにしています。	「できています」という言葉だけでは保護者はイメージができないため、「〇〇だから～」といったように更に具体的に伝え、イメージが付きやすいような助言ができるようにしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	① 家族支援プログラムの周知 家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）については「いいえ」と回答している保護者が一部見られた。支援の機会や内容について、保護者への周知方法や実施方法を工夫することで、より多くの保護者が支援を活用できる体制づくりが課題である。	支援プログラムが本来届くべき対象者に十分に認知されていないこと。	必要な情報を入手することができるよう、地域との連携や他の事業所との交流を持つことができるよう、外部と交流する機会を設ける 。
2			
3			

（別紙５）

公表　保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	こども発達支援センター『ばんばんＬａｂ．』（保育所等訪問支援事業）

公表日　令和８年　３　月　　１２　日

利用児童数　　２４名　　回収数　　１９名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	19	0	0	0		
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	19	0	0	0		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	19	0	0	0		
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	19	0	0	0		
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	19	0	0	0		
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	0		
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	19	0	0	0		
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	0	0	0		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0		
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	0	0	0		
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	17	0	0	2	参加したことが無いため、分からない。	保護者が周知しやすいよう情報提供の方法を検討します。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	19	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	0	0	0	本人について面談をしたり、助言等をしてもらえたりするので、助かっています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	0	0	0		
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	0	0	0		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	0	0	0		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0		

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	19	0	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	19	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	3	0	0		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	15	0	0	4		
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	19	0	0	0		
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	19	0	0	0	見てもらえることで更に頑張れると思います。	
	28	事業所の支援に満足していますか。	19	0	0	0	大満足です。	

（別紙６）

公表　訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名
こども発達支援センター『ばんばんＬａｂ．』 （保育所等訪問支援事業）

公表日　令和８年　３月　１２日

利用児童数　２１　回収数　／　２１名

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	21	0	0	・園や本人の状況を踏まえた助言をいただき、 参考になりました。 ・専門的な立場から教えていただきました。 ・具体的で分かりやすいです。 ・園児のセンターでの関りや方針など一致させることができました。 ・事業所と園とで同じ方向を向いて支援していける話ができて良かったです。 ・集団保育の現状の難しさに配慮した助言をいただき、無理なく実践できそうだと思いました。 ・対象児の事象所での様子など、具体的に教えていただけて良かった。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	21	0	0	・様々な角度から本児の姿を捉えられており、 新たな視点を得る機会となりました。 ・大変満足しています。 ・細やかに様子をつかみ、指導の話も聞かせて もらい、学びとなりました。 ・専門的な知識と経験に基づいた話を伺うことができ、参考になりました。 ・保護者の方へのサポートや助言について、園と同じ思いであることが分かり安心しました。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	21	0	0	・質問に対して丁寧に回答してくださるため、安心して相談することができました。 ・適切ですし、質問しやすいです。 ・いつまでも話をして、情報交換、情報共有がしたいと感じる有意義な時間となりました。 ・事業所での本児の様子や保護者の様子も教えていただき有難かったです。 ・質問に対して分かりやすく対応していただいていると感じています。 ・課題についての適切な助言をいただけたので助かりました。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	21	0	0	・保護者の不安軽減に繋がる支援をしていただ けました。 ・軽減されましたし、今後の方向性を共有でき 安心しました。 ・クラスで行っている声掛けや関わり方、受け 止め方に「良し」と思えました。 ・保護者が家庭でも関わり方など、考えてくれ るきっかけになり助かりました。 ・対応の仕方についての理解が深まりました	
5	事業所からの支援に満足していますか。	21	0	0	・大変満足しています。これからもよろしくお願いいたします。 ・大変満足しています。 ・ばんばんとの連携があってこその子どもの成長だと感じ、満足しています。 ・連携は円滑に行われていたと感じます。 ・園での様子と園としての今後の対応について しっかりう見ていただけたので良かった。	

その他のご意見			

・保護者の不安に寄り添いながらこどもの姿を客観的に捉えた助言をしていただきました。 ・こどもの特性や良さを共有することで園としての視野も広がり、大変参考になりました。 今後も連携しながら支援していきたいと思います。よろしくお願いいたします。 ・いつもありがとうございます。今後とも、よろしくお願いいたします。 ・具体的な支援方法を教えてくださり有難かったです。同じ方向で支援することができたと思います。 ・丁寧にご指導、ご助言いただき、心より感謝しております。また子どもたちの成長を的確に捉え、根気強く関わってもらえていることにも重ねて御礼申し上げます。 子どもの姿をこれからも共有させていただけましたら幸いです。いつでも訪問やお電話いただけたらと思います。これからもよろしくお願いいたします。 ・今後とも連携をよろしくお願いいたします。 ・子どもの集団の中での過ごし方を子どもたちの輪に入り見ていただきありがとうございました。それぞれの場での関係性の作り方、過ごし方、成長の様子を共有できたことで就学のより期待を持てました。ゆっくりお話しする機会を作っていただき感謝します。これからもよろしくお願いいたします。 ・園では聞いていなかった保護者の意向や家庭とのやりとりを教えていただけたことで、保護者の理解が深まったように思います。どのようなことに重点を置いて支援をしているのかを共有することで日々の保育の中でも足並みを揃えて指導していけるため、とても有難かったです。 ・本児の様子をみていただけたことで本児の困り感や支援の方法について共通理解ができ、同じ方向を向いて支援できることがとても良かったです。また保護者に対して必要なことを伝えてくださったことで就学に向けて保護者の意識が変わることもでき、大変有難かったです。 ・丁寧に見てもらい、園と療育での姿を共有できて良かったです。今後ともよろしくお願いいたします。 ・引き続き、連携を図りながら支援していけたらと思います。 ・丁寧な対応、園との連携、保護者に寄り添ったサポートをされていて感謝しております。対象児へのこれからための支援と保護者のための支援を具体的に伝え合えているので、対象児もとても成長したと時間しています。今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。 ・いつもありがとうございます。訪問回数を増やしていただけるともっと助かると思いました。今後とも、よろしくお願いいたします。	訪問先施設からは、子どもの特性や支援方法について具体的な助言が得られることや、園・家庭・療育の情報共有が進むことで支援の方向性を共通理解できている点について評価をいただいた。今後も訪問先施設との連携を大切にしながら、子どもの状況や支援の視点について丁寧に共有し、関係機関が同じ方向で支援を行えるよう取り組んでいく。 また、訪問回数に関する意見もあったことから、訪問の必要性や支援の状況に応じて柔軟に連携を図りながら、訪問先施設との情報共有や相談の機会を継続していく。

（別紙７）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	こども発達支援センター『ばんばんＬａｂ．』 （保育所等訪問支援事業）

公表日　令和８年　３月　１２日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・体制整備・運営・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	0		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	1		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	0	訪問後、支援シートを観覧し、園でも様子について職員間で共有している。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか 。	1	1		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	0		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2	0	園の先生と家族の思いについて共有している。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか 。	1	1	支援シートについては職員も回覧しているが、計画書の作成に関しては園の様子や家族の要望を聞いて作成することが多かった。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	0	園に直接、電話をしてこどもの様子と聞き取っている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	2	0		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	1		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2	0	情報共有と具体的な支援方法の提案を示すこともあった。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	1	訪問後に他の支援員に相談し、事例検討をすることがある。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	2	0		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2	0	園の方針や環境を何よりも尊重している。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2	0		

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0	園の先生と電話で共有したり、保護者との面談を実施している。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0	他事業所や相談員とこどもの様子を情報共有している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0	こども園や幼稚園・保育園と連携している。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	0		
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	0		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0	日々のフィードバックにて今、必要となる課題について話をして、それらを日々の療育にて実施している。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	2		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1	1		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	2	0	モニタリングにて保護者の意向を聞き、計画書に記載している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	0	モニタリングの時期は関係なく、保護者からの依頼があれば、その都度対応し、助言を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	0	学年ごとに茶話会を実施し、その中で保護者同士が交流する機会を設けている。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0	保護者からの依頼があれば、その都度対応し、助言を行っている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	2	今後、Instagram等で発信している必要あり。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0		
訪問先施	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	0	観察後か担任の先生の手が空いている時間に電話にて実施している。	

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2	0	報告日に報告書にて共有している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	0		